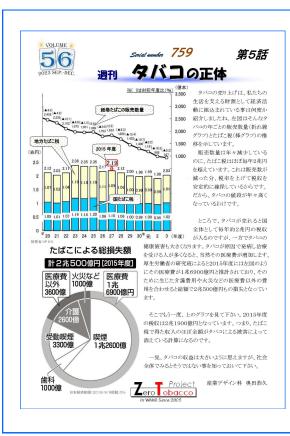
# 【调刊タバコの正体】

### Vol.56 第5~第10話 2023年10月 和歌山工業高校 奥田恭久



#### ■Vol. 56

# (No. 759) 第5話 タバコの収益

ータバコ税は毎年約2兆円超、健康被害関連医療費も2兆円超...

タバコの売り上げは、私たちの生活を支える財源として経済活動に組込 まれている事は何度か紹介しましたね。左図はそんなタバコの年ごとの販 売数量(折れ線グラフ)とたばこ税(棒グラフ)の推移を示しています。 販売数量は年々減少しているのに、たばこ税はほぼ毎年2兆円を超えてい ます。これは販売数が減った分、税率を上げて税収を安定的に確保してい るからです。だから、タバコの値段が年々高くなっているわけです。

ところで、タバコが売れると国全体として毎年約2兆円の税収が入るの ですが、一方でタバコの健康被害も大きくなります。タバコが原因で発病 し治療を受ける人が多くなると、当然その医療費が増加します。厚生労働 省の研究班によると2015年度には左図のようにその医療費が1兆69 00億円と推計されており、そのために生じた介護費用や火災などの医療 費以外の費用を合わせると総額で2兆500億円もの損失となっていま

そこでもう一度、上のグラフを見て下さい。2015年度の税収は2兆 1900億円となっています。つまり、たばこ税で得た収入のほぼ全額が タバコによる被害によって消えている計算になるのです...

### ■Vol. 56

# (No. 760) 第6話 日本は買いやすい

ー世界の先進国のタバコ価格は日本より遙かに高く...

現在、日本で売られているタバコの多くは580円程度ですが、皆さん はこれを"高い"と感じるでしょうか。それとも"安い"と思うでしょう か。タバコの価格の半分以上は税金である事を考えると、「タバコは高く つく」と思っている人は多いと思います。

ところで、日本以外の国々ではどのくらいの値段で売られているか知っ ているでしょうか。世界中の都市や国々の生活情報を記録する世界最大の データベース「NUMBEO」サイトによるタバコの国別価格をまとめたのが下 の表です。世界中で販売されている「マルボロ」と言うタバコがいくらで 売られているかを日本円に換算したランキングが示されています。

日本での価格は600円で106ヶ国中の54位とほぼ真ん中に位置し ているのですが、上位の国々の顔ぶれと値段を良くみて下さい。

なんとオーストラリアでは6倍の3600円もするほか上位10位は1 000円以上もするのです。「え~っ、そんなに高いタバコを買う人はい るの?」「なんで、そんなに高いの?」と感じますよね。

じつは、これらの国ではそれが狙いで、タバコを買いにくくしているので す。どうしてかと言うと、タバコによる健康被害を減らすためで、これは 政府の政策なのです。

こう見ると54位の日本はタバコを買いやすい国だと言える...



Zero obacco



### ■Vol. 56

# (No. 761) 第7話 警告の度合い

- 日本のタバコのパッケージの警告の度合いはかなり低い...

前回、世界のタバコの値段は驚くほど高いことを紹介しましたが、びっくりするのは値段だけではありません。なんとタバコのパッケージにこんな写真を掲載し、「タバコを吸うとこんな事になるよ」と警告しています。

例えば、オーストラリアでは左から、肺がん、口腔がん、血行障害による壊死などの写真が全面に印刷されています。またカナダではパッケージだけではなく、タバコー本一本に"タバコは、がんの原因になる"などの警告文が印刷され販売されています。

これでもかと言うぐらいタバコを吸わないよう警告しているのです。

日本のタバコも左のように、「肺がん、心筋梗塞などの虚血性疾患、脳 卒中になる危険性も高めます」という警告文が印刷されていますが、諸外 国に比べ、タバコの健康被害を警告する度合いが低いと言えるでしょう。

タバコの健康被害に対する姿勢は、国によってこんなに違う事を知って おいて下さい。

#### ■Vol. 56

# (No. 762) 第8話 世界のタバコ規制

ー世界の国々はFCTCに従ってタバコ規制をしている...

世界の多くの国々はタバコの健康被害に対して、かなり積極的な対策を とっています。先進国においては、パッケージにタバコの被害写真を大き く掲載したり、値段を高くして気軽に購入できないようにしている国々が ほとんどです。

じつは、そんなタバコ対策がとられているのには、世界の人々の健康対策を総括している世界保健機関(WHO)がタバコを規制する事を進めているからなのです。

左図にあるようにタバコ規制枠組み条約 (FCTC) という世界条約のもと、「タバコ税を上げる」「タバコの広告を禁止する」「パッケージやラベルの規制を行う」などの具体的な対策が行われているわけです。

FCTCは2005年に発効され、2021年時点で世界の182カ国がこの条約を守る事を約束(批准ひじゅん)しているので、ほとんどの国で今後さらにタバコ規制が進んでいくでしょう。

日本も2014年に批准していますが、先進諸国のなかでは対策が遅れています。世界のタバコ規制は確実に進んでいるなか、日本もいずれこの潮流に乗ることになるでしょう。





### ■Vol. 56

# (No. 763) 第9話 生涯禁止

ー喫界のタバコ対策は新しい段階に入っている...

つい最近、以下のような記事が報道されました。イギリスの首相が「2009年以降に生まれた人への紙巻タバコの販売を禁じる」法案を提出すると表明したのです。記事には、「喫煙が原因で多くの人が入院するとして国民医療制度に大きな負担がかかっている、と強調した」とあります。

じつは、タバコの販売を禁止しようとしているのはイギリスだけではなく、ニュージーランドでは同様の法案が昨年すでに議会で可決しています。担当大臣は「使用した人の半分が死亡するような製品の販売を許可する正当な理由はない」と語っています。

世界中でタバコの健康被害をなくす対策がとられている中、「そもそもタバコを売らなければ良いのでは」という動きが出始めています。

### ■Vol. 56

# (No. 764) 第10話 健康が気になる

ー加熱式タバコにも同程度の有害物質が含まれている...

数年前から、火を使わない"加熱式タバコ"を使用する喫煙者が増えています。左のグラフにあるように若い世代の喫煙者では3割以上が加熱式を使用しています。

火を使う紙巻タバコからはモクモクと白い煙が発生しますが、加熱式は 燃やさないので白い煙はほとんど出ません。だから、加熱式タバコを使用 する人の一番大きな理由は「煙やニオイが気にならないから」なのです。

そして、有害成分も少ないと宣伝されているので、「健康が気になり始めたから」という理由も上位に入っています。

そこで、下の表を見て下さい。確かに加熱式タバコの有害成分は少ないのですが、その程度はほんの少しです。煙がでないので有害成分がかなり少ない印象を持ってしまいますが、紙巻タバコと同程度含まれているのです。

加熱式タバコも決して健康に良いものではありません。



## 每週火曜日発行



URL:https://www.jascs.jp/truth\_of\_tabacco/truth\_of\_tabacco\_index.html ※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

